

令和5年度実施分 協働事業・市民活動助成事業 報告シート



松 戸 市



はじめに

松戸市では、「豊かで活力ある地域社会の実現」をめざして、市民及び市民活動団体、民間事業者と市による「協働のまちづくり」を推進しております。

その支援として、市民活動団体・民間事業者の活力を活かし、市と事業の企画から実施までを協力して行う「協働事業提案制度」と、新たな市民活動の立ち上げや既存の活動を発展させる「市民活動助成制度」があります。

【協働事業提案制度】

協働事業は、市民活動団体や民間事業者と行政のそれぞれが強みの部分を活かし、身近にある地域課題の解決に向けて、協力して実施する事業です。

協働事業提案制度は、市民活動団体や民間事業者が、協働事業を提案し、市と協力して、その事業を企画し、実施する制度です。

令和5年度は6事業実施しました。

【市民活動助成制度】

新たな市民活動を立ち上げるため、又は、既存の活動をさらに発展させるための事業に要する一時的な資金を助成することで、市民活動の活性化を図り、豊かで活力ある地域社会の実現に貢献することを目的とします。

新しく事業を立ち上げるときや、今行っている事業を発展させたいときに提案できる「スタート助成（助成上限額 10 万円）」と、既存事業を拡大、発展させたいときに提案できる「ステップアップ助成（助成上限額 30 万円）」の2つの部門を設けております。

令和5年度は8事業（スタート助成4事業、ステップアップ助成4事業）実施しました。

目 次

令和5年度協働事業・市民活動助成事業 事業概要

【協働事業】		ページ
○ 日本語を母国語としない子どものための学習支援事業	認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会 国際推進課	1
○ 地域まるごとで孤育てを予防する連携システム事業	まつどでつながるプロジェクト運営協議会 子ども政策課	2
○ 「まつどの介護」プロモーション事業	特定非営利活動法人SmileResource 介護保険課	3
○ 町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業	できる街プロジェクト 市民自治課	4
○ 料理教室を通じた父親の意識改革事業	MAISON IZARRA Oyatsulabo * T naturel メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル 男女共同参画課	5
○ まつど de SDGs の輪を広げようプロジェクト事業	まつど地域活躍塾つながりの会 政策推進課 市政総合研究室	6
【市民活動助成事業（スタート助成）】		ページ
○ 不登校の子どもたちの居場所づくり事業	NPO法人EdFuture	7
○ 「おひとりさま安心生活相談」事業	特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ	8
○ 松戸市内廃棄食糧再利用事業	おからを食べよう会	9
○ 四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業	小金原みんなでわくわくする会	10
【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】		ページ
○ みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	エディブルウェイプロジェクトチーム	11
○ ときわだいらオープンアトリエ事業	特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター	12
○ [生きづらさ・ひきこもり]一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業	生きづらわーほりプロジェクト	13
○ 冒険山開放に伴う見守り事業	冒険山開放委員会	14
● 協働のまちづくり基金について		15
● 協働のまちづくり基金 寄附者一覧(令和5年度)		16

日本語を母国語としない 子どものための学習支援事業	団体名	認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会
	事業担当課	国際推進課

事業費	1,024,727 円	自己資金	524,727 円	負担金	500,000 円
-----	-------------	------	-----------	-----	-----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

地域住民や学生とも連携して、日本語を母国語としない子どもの学習面、生活面支援を行った。

- 1) 松戸市内で5つの教室を開催〈常盤平火曜教室・常盤平木曜教室・常盤平土曜午前教室・常盤平土曜午後教室・新松戸教室・文化ホール教室〉

実施日数：219日 参加子ども数：1889名 スタッフ数：2069名（全て数字は延べ）

- 2) 集中勉強会

「大学生が企画運営する夏休み教室小学生クラス・中学生クラス」7/25～7/29 各5日間

「新松戸教室夏休み教室」8/21～8/25 3日間

「受験教室」10/1～2/18の日曜日、冬休み 23回

実施日数：36日 参加子ども数：390名 学生：96名 スタッフ数：304名（全て数字は延べ）

- 3) 初級クラスの導入

すでに実施している団体へのアンケートを実施、その後実際の教室見学を企画。



〈夏休み教室で多くの大学生と交流〉

令和5年度（2023年度）事業の成果

- 1) 受入れ生徒実数は、昨年度末の55人から66人に増加した。スタッフも昨年度末61人から78人に増加し個々のニーズに合ったマンツーマンの授業が出来た。オンライン授業は希望する生徒3名にスタッフ3名が個別に週1回～3回延べ170回、行い成果があった。
- 2) 大学生を広く募集して行った「夏休み教室」、多くの学生が外国ルーツの子どもの現状を理解し、生徒たちにとっても将来像として大学生を身近に感じる事ができおおきな体験となった。
- 3) 初級クラス検討Gは「日本語の初期指導について」の研修会を実施24名が参加した。その後他団体の初級教育のオンラインでの授業を体験したり、実際の教室を見学させてもらい子どもの到達段階の把握の仕方などスタッフどうしの話しをすることもできた。

（団体紹介）

外国からやってきて地域の学校に入った子どもを主な対象に、真の自立のための日本語・学習支援活動を行い、広く公益に貢献することを目的としています。

《問合せ先》認定 NPO 法人 外国人の子どものための勉強会

〒270-0034 松戸市新松戸7丁目517番地

TEL/FAX 047-345-2051

Email gaikokukodomo@msn.com

HP URL <https://www.esco-matsudo.org>

地域まるごとで孤育てを 予防する連携システム事業	団体名	まつどでつながるプロジェクト 運営協議会
	事業担当課	子ども政策課

事業費	333,919円	自己資金	34,919円	負担金	299,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和5年度（取り組み【報告】）

●地域円卓会議…行政・民間それぞれの支援者が集まり、孤立しがちな家庭や子どもについての課題感を共有し、検討する中で相互の連携に向けた関係づくりにつなげることができた。また新たな取り組みとして検討ワークショップを実施し、具体的なアクションとして、民間情報の可視化をねらいとして、地域資源マップの作成にも取り組んだ。



●市民サポーター養成講座…街のいたる場所で子育てをあたたく見守る市民を増やすことを目的として、全国でご活躍されている奥山氏に講師に来ていただき、子育てを取り巻く環境や地域での支援活動など、社会の変化についてお話いただいた。また連続講座では3回にかけて、今の子育てに対してどのような関わりが求められているのかを学び合い、具体的な活動について検討した。



令和5年度（2023年度）事業の成果

<地域円卓会議>

目標：年3回の実施を予定。延べ80名の参加者をめざす。→延べ145名と達成することができた。

検討ワークショップの開催および実践事例をめざす。→3回実施、民間情報のマップ化に取り組んだ。

第1回円卓会議の開催 テーマ「乳幼児期における子育ての孤立」 参加者50名

第2回円卓会議の開催 テーマ「児童期における子どもを取り巻く孤立」 参加者45名

第3回円卓会議の開催 テーマ「青年期における若者の孤立」 参加者50名

<市民サポーター養成講座>

目標：子育てを街で支えることを幅広く周知するための講演会（年1回、50名の集客を目標とする）

および、連続講座の受講生20名をめざす。→講演会22名、連続講座17名と目標には達することができなかったが、受講生による活動への参加や自主的な活動のきっかけをつくることができた。

公開講演会「安心して子育てできる街になるために私たちができること」…参加者22名

第1回養成講座「松戸市の子育ての現状、行政・民間の支援を知る」…参加者16名

第2回養成講座「当事者と共に、地域で必要とされることを考える」…参加者13名

第3回養成講座「寄り添ったコミュニケーションや関わり方を考える」…参加者14名

追加ミーティング「今後どのような活動を行っていくかの検討」…参加者8名

【団体紹介】

公的支援が届きづらい、制度からこぼれ落ちてしまいがちな子育て家庭が、身近な地域やサポートにつながれる、抱え込まず「助けて」と声をあげられるよう、地域全体で温かく迎え入れられる環境を作り、「孤立する子育てを防ぐ」ことを目的として様々な事業に取り組んでいます。

《問合せ先》団体名：まつどでつながるプロジェクト運営協議会 住所：松戸市本町13-27
子育てつながるセンターco-no-mi 電話：050-5472-9839 Eメール：info@m-tsunagaru.com
ホームページ：https://m-tsunagaru.com 担当者名：阿部

「まつどの介護」 プロモーション事業	団体名	NPO 法人 SmileResource
	事業担当課	介護保険課

事業費	204,436 円	自己資金	20,444 円	負担金	183,992 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

「松戸市の介護制度を動画して見える化しよう！」をスローガンに今年度も各介護事業所にお邪魔しその様子のショート動画を制作していきました。

引き続き今年度も千葉県松戸向陽高等学校の学生さんらに制作ボランティアとして参加いただいたことで若者からの介護制度及び魅力の発信に繋がる動画となったと思います。

取材先で働く職員さんらからは、「若い人たちが松戸市の介護を沢山のの人に伝えてほしい」とお声もいただいています。

今年度は介護事業所の紹介だけでなく、松戸市で介護を学べる学校紹介の動画や介護職員等永年勤続表彰の動画なども制作しています。



令和5年度（2023年度）事業の成果

目標に対する成果を報告させていただきます。

- ① 介護保険サービスを種別ごと5～10分程度のPVとして制作
目標：8～10本程 結果：7本
- ② それぞれの動画再生回数 目標：各動画ごとに500回再生
結果：最大再生数動画 1.3万回 最小再生数動画 134回 平均再生数 560回
- ③ 介護を学ぶ学生及び動画制作に興味ある学生ボランティアの参画
目標：年間5～10名 結果：学生数延べ55名参加
千葉県立松戸向陽高等学校 福祉教養科の皆さん
- ④ 事業の普及啓発
目標：2回の上映会を開催
結果：ゲッドユアドリームにて上映3回 ハローワーク松戸にて動画放映中

【団体紹介】

私たちは“介護離職0の社会を目指して、令和2年から活動しているNPO法人です。動画制作のほか、介護者及び高齢者サポートのセミナーやイベントを開催しています。

《問合せ先》

NPO法人 SmileResource 松戸市旭町4-1140-3/TEL)090-2722-2692/mail)smilenpo3@gmale.com
HP)http://smilersource.jimdosite.com

町会・自治会の活動をPRして親しみをもってもらおう事業	団体名	できる街プロジェクト
	事業担当課	市民自治課

事業費	611,280円	自己資金	111,280円	負担金	500,000円
-----	----------	------	----------	-----	----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

A. 松戸市町会・自治会 PR 内容の調査・ヒアリング

東部地区会（第7話：町会・自治会の防災訓練について）（23/2/5）
 馬橋中央町会（第9話：町会・自治会のお祭りについて）（23/2/24）
 小金原九丁目町会（第8話：町会・自治会の若手役員について）（23/3/23）

B. 松戸市町会・自治会 PR 漫画の制作・公開

第7話～第10話漫画制作（4/1～3/31）、第7話～第10話漫画公開（2/5～3/31）

C. 松戸市町会・自治会 PR アニメの制作・公開

第7話～第10話アニメ制作（4/1～3/31）、音声収録（10/11）、
 第7話～第10話アニメ公開（11/26～3/31）



D. じちまる&まつかめが登場するアニメの制作・地上波 TV 放送

TV アニメ制作（4/1～12/31）、音声収録（6/14）、TV 放送（3/29）



E. プレスリリース

インターネットプレスリリース（3/27）

©一般社団法人超普通/株式会社フロンティアワークス

令和5年度（2023年度）事業の成果

①漫画制作【制作漫画数：4話、SNSでの視聴回数：14,621回】《3/31時点》

②動画制作【制作動画数：4話、SNSでの視聴回数：29,401回】《3/31時点》

③2024年度の町会・自治会加入率【R6/3/31時点 66.09%】

【団体紹介】

2015年10月設立のNPO企画団体・市民公益活動団体。地域活性化を主な目的として、プロアマ問わずクリエイターが多く在籍し、アニメ・漫画を使った市のPR活動、障害者支援、引きこもり支援など多岐にわたり活動。

《問合せ先》

【団体名】できる街プロジェクト【TEL】090-5476-4356【MAIL】project@dekimachi.com

【HP】https://dekimachi.com/【担当者名】楠本 慶彦

料理教室を通じた 父親の意識改革事業	団体名	MAISON IZARRA Oyatsu labo * T nature メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル
	事業担当課	男女共同参画課

事業費	706,870 円	自己資金	248,482 円	負担金	458,388 円
-----	-----------	------	-----------	-----	-----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

父親が主体的に家事・育児へ参加するきっかけづくりと、男女は対等なパートナーであることの理解促進のために、【父と子のお菓子作り体験教室】を開催。

料理講習として父親と子どもと一緒に料理をする機会を提供し、あわせて、父親としての家庭参画、家事や子育てについて考えるワークショップを行いました。

- ・調理イベント（2.5時間）＋ワークショップ（30分）のプログラム組み立て
- ・レシピの作成（卵不使用レシピ）や試作、材料の選定・調達、広報用チラシ・ポスター作成
- ・調理レクチャーとサポートを行いました。



令和5年度（2023年度）事業の成果

・参加費有料（材料費として¥1,000）での開催を試験的に行いましたが、4回開催とも定員を超える申込があり、関心を持っていただけました。

・各回10～15組20～30名の参加者目標については、各回15組（第1回のみ12組）で開催し、ほぼ達成しました。

目標：全4回で参加人数50組100名 結果： 55組 120名

・ワークショップでは家庭での父親の役割についての意見交換を通して、男女は対等なパートナーであることの理解促進をし、アンケート結果により、家事・育児に関する考え方の変化がみられました。子どもとの料理体験がとても楽しかったとのお声を多く頂き、また参加したい。家でも挑戦してみます、とのご感想も頂きました。

調理を通して父と子の関係が深まり、家庭に持ち帰って家族で食べる事で、父親の家庭参加のきっかけづくりができ、男性の家事・育児への心象的なハードルを下げることができました。

【団体紹介】

MAISON IZARRA Oyatsu labo * T nature | メゾン イザラおやつラボ*テ ナチュレル

料理教室を通じて『手作りの楽しさと、食の大切さ』を伝える活動と、

社会の根っこである家族の絆になるきっかけづくりを行います。

《問合せ先》 MAISON IZARRA Oyatsu labo * T nature |

Mail: izarra@orion.ocn.ne.jp

http://izarra.chagasi.com

担当：笠井

まつど de SDGs の輪を広げよう プロジェクト事業	団体名	まつど地域活躍塾つながりの会
	事業担当課	松戸市 総合政策部 政策推進課 市政総合研究室

事業費	91,400 円	自己資金	9,140 円	負担金	82,260 円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

松戸の市民社会の中で SDGs の理解を促進するため、下記3つの活動を行った。

①SDGs 情報発信の拡大(松戸版 SDGs 事例集の作成)

SDGs 事例集(12件)の取りまとめを行った。協働事業の利点を活かし、市HPでの応募フォーム・書式の掲載により、一般市民に向け広く広報ができた。

②SDGs の地域学習の促進(SDGs 地域学習会の実施)

SDGs 地域学習会(4回)を開催した。SDGs ネットワーク団体に参加の呼び掛けを行い、ネットワーク団体会合(意見交換会)を兼ねた取組みを実施できた。また、例年どおり多くの市民が来場する松戸市消費生活展への出展にて



第2回 SDGs 地域学習会(松戸市消費生活展)

実施することで、多くの市民に啓発活動を行った。さらに、市と協働することで、市の事業に携わる大学生等の若者による取組みの紹介や出席者との意見交換も実現した。

③SDGs 行動意識の向上(SDGs アクション・プランコンテストの開催)

SDGs アクション・プランコンテストを開催し、5件の応募・発表があった。市HPやペライチにて募集の周知を行うことで、民間企業からの自主的な応募があった。また、審査員として市のSDGs推進事業に携わる大学生も参加し、若者の視点からも応募内容について意見・評価することができた。

令和5年度（2023年度）事業の成果

①SDGs 情報発信の拡大(松戸版 SDGs 事例集の作成)

目標：20活動(事例)以上の事例集掲載 → 実績：12活動(事例)

活動事例は12の応募があり、内容の取りまとめに留まった(web掲載までには至らなかった)。市HPでの広報等により当初主に想定していた市民団体や自治会の他、学生団体や民間企業等から応募があり、バラエティに富んだ分野の内容となった。

②SDGs の地域学習の促進(SDGs 地域学習会の実施)

目標：4回実施、参加者合計80人 → 実績：4回実施、参加者合計606人

事業開始から積極的に企画し、目標としていた回数の実施ができた。

③SDGs 行動意識の向上(SDGs アクション・プランコンテストの開催)

目標：実施1回、応募件数20件以上 → 実績：実施1回、応募件数5件

応募件数は5件に留まったものの、市HPでの募集周知の効果もあり、民間企業からの応募もあるなど、少ない募集件数の中でも様々なテーマの取組みを共有ができたことで、ローカルSDGsの行動意識を高めていくことにつながった。

【団体紹介】

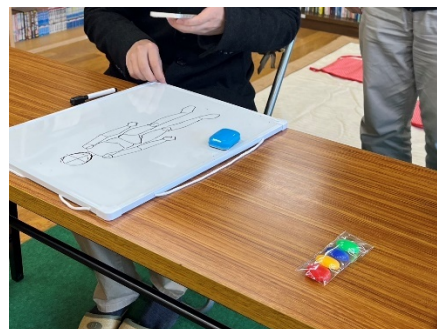
2017年松戸市で開催した「まつど地域活躍塾」の修了生有志によって2019年に立ち上がった団体で、活躍塾の目標を実現するため、修了生の地域での活動・活躍を支援し、地域の活性化に寄与することを目的としている。当会では、2019年4月からSDGs推進メンバーが中心となって松戸市民がSDGsにより関心を持ち、個々の行動につながることを目指し、市内の活動団体・企業と連携した普及啓発活動を行っている。

《問合せ先》まつど地域活躍塾つながりの会 担当: 佐藤 秀樹

Email: matsudo.tsunagari@gmail.com

Facebook: <https://www.facebook.com/matsudo.tsunagarinokai>

不登校の子どもの居場所づくり事業	団体名	NPO 法人 EdFuture	
事業費	50,702 円	自己資金	5,071 円 助成金 45,631 円
<p>令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】</p> <p>松戸市で、不登校や学校に行きづらさを感じている子どもたちに居場所を提供し、学習支援やコミュニケーションを図る活動を行った。1年間を通し、不登校の子どもと家族、不登校でない子どもの居場所として活動を展開し、延べ30名と市内の大学生ボランティア7名が参加した。不登校の子どもにとって、初めての場所に行く心理的ハードルが高く、不登校の子は来られず親のみで来館し、悩みを吐露することもあった。また、不登校を経験したという学生や社会人が来館することもあり、過去の経験を話す場としても居場所が活用された。</p> <p>不登校の子どもや家族により気軽に居場所へ来てもらうために、調理実習イベント、手話を学ぶイベントなどを開催した。8月の調理実習で作るのはかき氷であり、実施すると、不登校の子どもが来館し、大学生のボランティアとかき氷を作る姿があった。一緒にかき氷を作るという作業をすることで、自然と会話が生まれ、大学生たちと関わっていた。12月はクリスマス会としてパンケーキ作りを実施した。</p> <p>オンラインでは、Zoomのほかに公式LINEを使用して子どもから直接相談を受け取れる体制も整えると、子どもから学校生活での悩みの相談が寄せられた。利用者からは、相談後に「相談に乗って下さりありがとうございます。ちょっと〇〇してみようと思います。」とあり、話を聞くことで相談者が自ら次の行動を移そうとする言葉が聞かれた。</p>			
<p>令和5年度（2023年度）事業の成果</p> <p>年間を通して30回以上居場所を開くことができた。子ども以外にも不登校を経験した方や大学生ボランティア、不登校支援に興味のある方、保護者が居場所に来館した。チラシやSNSの広報を通じて、市外や県外の方が参加してくれることも多かった。</p> <p>通常の居場所では0~3人/回の来館、オンラインでは0~1人の利用があり、手話のイベント時は子どもと大人をあわせて10名以上の利用者がいた。延べ30名が居場所に参加し、利用の子どもの保護者からは「笑顔で暖かく迎えていただいたお陰で、楽しく遊べたようでした！」と感想があった。普段家に籠っていて、社会や地域コミュニティと繋がりがなくなってしまっていた不登校の子どもたちにとって、家の外のコミュニティと繋がる機会になった。</p>			
<p>【団体紹介】</p> <p>「未来のために、多様な教育を。」をいうVISIONを掲げ、20代の若手教員が中心となり2022年に設立した。すべての子どもたちが自分らしく生きるため、不登校や教育格差など教育課題の解決に取り組む。</p> <p>《問合せ先》 NPO 法人 EdFuture 代表 中村 柁 https://edfuture.amebaownd.com/</p>			



「おひとりさま安心生活相談」事業	団体名	特定非営利活動法人 おひとりさま安心コンシェルジュ
------------------	-----	------------------------------

事業費 33,520 円	自己資金 18,445 円	助成金 15,075 円
--------------	---------------	--------------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

①安心生活相談会

●終活おひとりさま安心相談会

ご本人の成年後見、死後事務などについて、市民の方、特に“おひとりさま（独居高齢者）”が抱えるの不安や問題点を丁寧に聴く相談会を実施しました。

●身寄りがない人のための身元保証や老後の備えの講演会

成年後見制度、身元保証、介護制度について、税理士、司法書士、社会保険労務士、ケアマネジャーの成年後見の専門家による講演会を実施しました。

②周知活動

相談会や講演会の事業について、市内の地域包括支援センターや福祉施設に対して、ご訪問やご案内送付しました。

令和5年度（2023年度）事業の成果

①安心生活相談会

相談件数30件以上を目標：実施した相談会はほぼすべて満席となり20件となり、ケアマネジャーなどからの直接の相談が8件あったことから、合計28件だったが、は届かなかった。そのうえで、市民の方には“おひとりさま”が抱える問題の方向性を示して、安心につなげました。

②周知活動

相談会がほぼ満席になったり、ケアマネジャーなどからの直接の相談があったことから、一定の効果があったと考えています。

【団体紹介】

高齢者、とくに“おひとりさま（独居高齢者）”に寄り添い、成年後見、身元保証、お墓のことなど、おひとりさまが抱える問題について、成年後見の専門家である税理士、司法書士、社会保険労務士、ケアマネジャーが丁寧に話を聞きながら、ワンストップで法的な問題の解決を支援いたします。

《問合せ先》

特定非営利活動法人

おひとりさま安心コンシェルジュ

所在地：〒271-0044

松戸市西馬橋5丁目1番地の5

電話：047-711-8150



松戸市市民劇場での講演会の様子

松戸市内廃棄食糧再利用事業	団体名	おからを食べよう会
---------------	-----	-----------

事業費	146,659円	自己資金	46,659円	助成金	100,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

親世代や子供たちの次世代における廃棄されやすい松戸市内の食品の認知拡大を目標に、料理の講習会（全5回）を開催することでその食品の幅広い活用方法を提示しました。

講習会では、実際に看護師として働いている方を講師としてお招きして該当食品の栄養面でのお話をさせていただきました。また、市内の食料品店から伺った廃棄状況のお話をし、食品の現状を参加者に広くお伝えしました。

レシピは小さな子供にも興味を持っていただけるように工夫を凝らしたデザート（おからドーナツパフェ）などを用意しました。そして、使用した果物や野菜はできる限り旬のものを使用しました。

参加者の方から「美味しかった」等の評価をいただき、実際に食品に興味を持って市内の食料品店に伺ったという話も聞きました。



発酵のプロと看護師さんと一緒に作る！

たんぱく質と食物繊維、炭水化物、ビタミンB、カルシウム鉄・カリウム・ミネラル、ビタミンEなどバランスよく含まれているおからと、お豆腐の食料を美味しく食べよう。

『おからを食べよう会企画』
令和5年度松戸市市民活動助成事業
7月24日(月)/8月28日(月)10:00~12:30
場所：馬橋市民センター料理教室

—FOODMENU—
無添加麺カレーうどんとおからいなり寿司
夏野菜とおから味噌ドレッシング
国産大豆おからを使って作るおからドーナツのせ
おからキャラメルパフェ

どなたでもご参加いただけます。
お子様の場合は、保護者同伴をお願いします。

参加費1000円
定員20名まで

お申し込みは → LINE
主催 おからを食べよう会
連絡先 okatabe80@gmail.com

令和5年度（2023年度）事業の成果

【目標人数 100人】【結果 50人】

全5回の講習会で1・2回目のような講習会の前半では参加者が定員まで集まらず、結果として目標人数を達成することができませんでした。しかし、回を重ねるにつれ参加者は増え、2月に行われた講習会では定員を超える申し込みがあり、興味を持つ人が増えたと考えられます。

【親世代や子供たちなどの次世代における廃棄されやすい食品の認知拡大】

講習会では親子の参加者が10組を超え、実際に私たちが提示した食品に興味を持って店に足を運んだ方が多くいたのでおおむね達成できたと考えます。

【団体紹介】

おからに関する活動として、廃棄されてしまっているおからを食べて健康寿命を延ばす提案をし、市内の地産地消を活発化させることを目的として活動しています。



また、体に優しい食べ物を食べて、食事で健康になることも目的としています。

《問合せ先》

【団体名】おからを食べよう会

【MAIL】 okatabe80@gmail.com

【担当者】和知希代子

<p>四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業</p>	<p>団体名</p>	<p>小金原みんなでわくわくする会</p>
<p>事業費 118,384 円</p>	<p>自己資金 18,384 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
<p>令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】</p>		
<p>1. 目的；SDGs の勉強会から始めて活動2年目を迎え、小金原地区のSWOT（強み弱み）分析から、活動テーマの抽出と具体的活動の立案・実行に当り、全世代が自主的に取り組むことを通して、良好な地域社会の維持及び発展に資すること。</p> <p>2. 実施内容；</p> <p>1）SDGs 活動会（4回）を通して、SWOT 分析から活動4テーマの絞り込み及びその活動具体化</p> <p>①落葉の堆肥化：三丁目町内会のやまばと公園にコンポスト設置について、松戸市公園緑地課へ相談⇒計画案を作成して提案する。</p> <p>②町会館の活用化：他町会館等の使用料調査し、使用料の見直しと町会催しの検討。</p> <p>③グリスロの活用化：実際に乗車して利便性確認し、改善案を検討中。</p> <p>④高齢者対応：エンディングノートの作成、勉強会開催（第1回）</p> <p>2）「四世代交流会」の開催（6/18）</p> <p>上記④高齢者対応、とも関連して、全世代を一堂に会した交流会を企画・実施した。</p> <p>・根木内小学校体育館を借りて地元奏者による音楽会を中心に、小学校入学祝、成人式、古希の合同祝いを実施（62名参加）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p>令和5年度（2023年度）事業の成果</p>		
<p>1. 講師を招いてSDGs 活動会を4回開催（全構成員8/10名、地域住民3/10名参加）し、グループ討議により4件の活動テーマについての実施化着手した。</p> <p>2. やまばと公園にコンポスト設置について、市公園緑地課と第1回目の相談を実施し、花の栽培についても緑と花の課よりアドバイス頂いた。</p> <p>3. 第1回エンディングノートの作成、勉強会実施（全構成員8/10名、地域住民5/10名参加）</p> <p>4. 「四世代交流会」開催（62名参加、内子供7名、女性38名）；全世代合同祝賀の地元奏者による音楽会を開催した。最後に参加者全員で輪になって合唱し、“世代交流の輪”が芽生えた。</p>		
<p>【団体紹介】</p>		
<p>小金原地区で、SDGs の勉強・実践活動を推進しています。町内会とも連携して、明るくより良い生活環境を実現していくことを目標としています。学生の方や若い世代の方々と一緒に活動していきたいと思っておりますので、興味のある方は、是非連絡ください。</p>		
<p>《問合せ先》 小金原みんなでわくわくする会：松戸市小金原三丁目4-5 小金原会館内 Tel:343-4816、Fax:343-4824、e-mail:nobifuna@aol.com、担当者：船橋 登</p>		

みんなで育て みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業	団体名	エディブルウェイ プロジェクトチーム
------------------------------------	-----	-----------------------

事業費	384,666円	自己資金	84,666円	助成金	300,000円
-----	----------	------	---------	-----	----------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

沿道の住宅や店舗前のスペースに、お揃いのプランターを設置し、野菜やハーブなど食べられる植物を育てる「食べられる景観」づくりや、植物を使ったクラフトづくりを行うことで、地域環境を学び合う場づくりや、住民の交流のきっかけづくり、関係構築を図る活動です。

1 タネ・苗配布交換会、植え替え活動（5月・10月）

5月/10月に植え替え講座、タネや、ハーブの挿し穂、苗などを持ち寄る配布交換会を開催しました。交換会は、参加者同士の交流のきっかけとなりました。



植え替え講座

2 タネ取り・育苗講座開催について（4月・9月）

有志の「苗部」を立ち上げて育苗活動をしました。小学生から大学生、大人まで9名が参加し、種まきの後、各家庭のベランダや庭で、苗を育てました。



タネ・苗配布交換会

3 子ども向けクラフトワークショップ（12・3月開催）

12月はピーナッツを使ったクリスマスかざりづくりを開催。3月は椿の花を使った草花遊びをし、椿茶を飲んで椿を楽しむ会を開催。草花遊びに関心を持ったシニアの方の参加もあり、多世代交流の場となりました。



クラフトワークショップ

4 ハーブクラフト講座（6・1月開催）

6月は、虫除けチンキ、1月は、ハーブオイル、ハーブビネガーづくりを学びました。生活の中で、気軽に使うコツを学ぶことができました。ハーブの使い方をよく知ることで、育てるモチベーションの向上になっているようです。



ハーブクラフト講座

5 情報発信（通年）

Instagram、Facebook、LINEオープンチャットなどで定期的に情報配信を行いました。また、栽培方法などまとめた冊子を作り普及啓発活動に活用しました。

令和5年度（2023年度）事業の成果


劣化しているプランター3個を更新。EW参加者の誘いや、ワークショップ参加がきっかけで、新規参加者が3世帯増加。苗部を立ち上げ、ボランティアで育苗活動開始。植え替えをタネ・苗の交換会として開催。リレー栽培、寄せ植えが、見た目にもよく、景観面でもよりよい手法を学ぶことができました。講座に、専門的な知識を持つ外部講師を招いたことで、講座の内容が充実し、植物を育てる、活用する知識をみんなで学ぶことができました。

【団体紹介】

JR松戸駅から千葉大学松戸キャンパスまでの約1kmのエリアで、沿道から見える民地で、お揃いのプランターを用いて地先園芸的に野菜やハーブを育て「エディブル・ランドスケープ(食べられる景観)」をつくる活動や、植物を使ったものづくり活動を通して、人びとのコミュニケーションを生み出すことを目的に活動を行っています。※沿道のプランターの植物は各家庭で大切に育てています。摘み取りなどはご遠慮いただき、気になる方はオーナーさんにお声かけ下さい。

《問合せ先》エディブルウェイプロジェクトチーム

[メール] info@edibleway.org [HP] <http://edibleway.org/> [Instagram]@edible.way

<p>ときわだいら オープンアトリエ事業</p>	<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人 ディープデモクラシー・センター</p>
<p>事業費 488,816 円</p>	<p>自己資金 188,816 円</p>	<p>助成金 300,000 円</p>
<p>令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】</p> <p>縮小ニッポンといわれるように、人口減少、少子高齢化、労働力不足、貧困の拡大、人々の孤立等の問題は、松戸市においても、深刻なものとなっています。世代や経済的な状況を問わず、社会的に孤立している人々が増えていきます。支援の現場でいつも思うことは、どうしてもっと早く相談してくれなかったのか？ということです。程度の差はあれ、社会的に孤立した状態で暮らす多くの人々が、どうしたら、SOSを出してくれるようになるのか？私たちはずっと考えてきました。必要なものは、「自己開示」と「他者理解」。そして「創造」と「想像」、私たちは、まるで違う切り口の場を持つことで、地域で孤立する人々を包摂し、互いに理解できるのではないかと考え、誰かと出会い、一緒にアートを楽しめる、小さくても地域にひらかれた場・・・、地域におけるアートとケアのための場<オープンアトリエ>と、音楽とリズムによる表現の場<ドラムサークル>を、そして、各回の先駆者3人【菅原直樹さん（「老いと演劇」OiBokkeShi）、野田憲一さん（GROOVE CONNECT）、浅田政志さん（写真家）をお招きしたセミナーを開催しました。</p> <p>（オープンアトリエ7回、ドラムサークル7回 セミナー3回（6/17「老いと演劇のワークショップ」7/30「ときわだいらドラムサークル」2/23「写真のチカラ、アルバムのチカラ」）</p> 		
<p>令和5年度（2023年度）事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの参加者 目標：のべ60人 結果：のべ59人 ・オープンアトリエの参加者 目標：のべ100人 結果：のべ61人 ・ドラムサークルの参加者 目標：のべ70人 結果：のべ123人 <p>・常盤平という街において、社会的な孤立に抗っていきたい、という思いで、2022年度からスタートした事業ですが、ずっと団地に住んでいる方、最近移り住んできたけどあまり知り合いがいないという方、障害のある方、引きこもりがちの方、生活困窮からの生活再建中の方、刑余者の方、LGBTといわれる方、DV被害に遭われた方、など多様な人々が、表現という共通項の元に、空間と時間を分かち合うことができました。</p>		
<p>【団体紹介】</p> <p>常盤平地区で、相互扶助による地域づくりを行っています。</p> <p>《問合せ先》</p> <p>特定非営利活動法人ディープデモクラシー・センター 松戸市常盤平2-9-6 第5石川ビル3F Eメール・info@deepdemocracy.center web サイト・www.deepdemocracy.center</p>		

<p>[生きづらさ・ひきこもり] 一人ひとりに合わせて つながりが広がる事業</p>	<p>団体名</p>	<p>生きづらわーほりプロジェクト</p>
<p>事業費 332,675 円</p>	<p>自己資金 78,628 円</p>	<p>助成金 254,047 円</p>
<p>令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】</p> <p>【目的】ひきこもり当事者（以下、「当事者」という）が抱えている生きづらさを和らげるために当事者をサポートする活動を実施する。一口に「ひきこもり」といっても、外出するのが難しい当事者や外出はできても就労や地域の人と接するには不安がある当事者など、一人ひとり状態は異なることから、当事者の状態や希望に即してきめ細かくサポートを行う。</p> <p>■ 生きづら Cooking-Meeting 「つたわり」 当事者が集まって、みんなでランチを作り、一緒に食べながら楽しく会話をして過ごす場「つたわり」を毎月1回開催しました。オンライン会議（ZOOM）での参加もできるようにしました。</p> <p>■ 風の家「はう」 当事者同士少人数で話したり、スタッフに個別に相談したり、無理に話さなくても本を読むなどして自由に過ごせる場「風の家「はう」」を毎月2回開催しました。</p> <p>■ プレゼンテーション練習会 1日目はコミュニケーションのコツやプレゼンテーションの基本的な考え方などを実際に口や体を動かしながら学ぶ講習会、2日目は参加者一人ひとり順番に自分の好きなことに関するプレゼンテーションを行うという2日間のシリーズのワークショップを2回開催しました。</p>		
<p>令和5年度（2023年度）事業の成果</p> <p>・「つたわり」の参加者は合計39人で参加者数は目標に達しませんでした。が、「はう」の参加者は合計174人でこちらは目標を大きく上回りました。繰り返し参加された当事者が多く、満足度も高かったです。一方で、新規に参加された当事者は少なく告知の面などが課題となりました。みんなで一緒に料理を作ったり、いろいろな人と話したりして、当事者がリラックスして過ごせる場を作りました。</p> <p>・「プレゼンテーション練習会」の参加者は合計11人で目標をやや下回りましたが、「つたわり」や「はう」に参加されている方も参加され、いわゆる居場所の次のステップという位置づけで実施できました。人前に立って話をするのは初めてという方もおり、貴重な経験を得られる機会となりました。今後も開催してほしいという声も多く聞かれ、意欲の向上につながっている様子も見られました。</p>		
<p>【団体紹介】</p> <p>ひきこもりやうつ等により孤立し、生きづらさを感じている人たちに対して本人の想いや行動をサポート・アシストすることによって、本人が抱えている生きづらさがやわらぎ、地域や社会で生き生きと暮らしていけるようになることを目指して活動しています。</p> <p>《問合せ先》 生きづらわーほりプロジェクト [メール] zurahori@yahoo.co.jp [HP] https://ikizura-wh.jimdofree.com/ [担当] 富安</p>		



<p>冒険山開放に伴う 見守り活動事業</p>	<p>団体名</p>	<p>冒険山開放委員会</p>
-----------------------------	------------	-----------------

<p>事業費 176,589 円</p>	<p>自己資金 36,708 円</p>	<p>助成金 139,881 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

令和5年度（2023年度）事業の取り組み【報告】

- (1) 学校開放日の見守り活動 全19回 子どもの参加 118名 見守り 58名
毎月第一、第二日曜日は小金北小学校の開放日で、校庭で遊ぶ子供たちの見守り活動を実施しました。昔ながらの遊び道義（竹馬、ぽっくり、けん玉、駒などに今年はグランドゴルフも）を備え一緒に遊びながら指導も行いました。
- (2) 小金北小学校の開放日の使用団体に声をかけて、校庭の草刈を7月16日に行いました。今年70名の参加があり、学校側からも応援をいただきました。
- (3) 里山散策とザリガニ釣り大会の実施 場所 根木内歴史公園 7月23日 参加者 19名
スズメバチの出現があり、里山散策は中止しました。
- (4) 焼き芋の集い 場所 中金杉浅間公園 11月12日 参加者 97名
- (5) 新春凧揚げ大会 場所 東洋大学野球グラウンド 1月7日 参加者 57名
- (6) オンラインセミナー「子どもと遊び」Zoom使用 12月20日 参加者 16名

新春凧揚げ大会

参考写真



令和5年度（2023年度）事業の成果

開放日の子どもたちの参加を増やすというテーマは、残念ながら達成できませんでした。見守り隊委員の人員強化の目標について、見守り隊員の増加はできませんでしたが、ほぼ予定の人員は確保でき運営に問題はありませんでした。

【団体紹介】

「子どもたちの健やかな成長を願って」を理念として、冒険山開放委員会を令和元年6月に発足。子どもたちは自然から学び、遊びから学びます。見守り活動を通して学びの機会を提供して、子どもたちを支えていこうという志を持った団体です。

《問合せ先》冒険山開放委員会 石崎 建夫 連絡先 09024374313

協働のまちづくり基金

令和5年度は 市民活動助成事業

8事業 を応援しました！！

スタート助成			
不登校の子どもたちの居場所づくり事業 P7	「おひとりさま安心生活相談」事業 P8	松戸市内廃棄食糧再利用事業 P9	四世代のきずなで、豊かな生活環境を実現する事業 P10
ステップアップ助成			
みんなで育て、みんなでつくる 沿道での食べられる景観事業 P11	ときわだいらオープンアトリエ事業 P12	[生きづらさ・ひきこもり]一人ひとりに合わせてつながりが広がる事業 P13	冒険山開放に伴う見守り事業 P14

【 協働のまちづくり基金とは 】

市民、市民活動団体、事業者の皆様から寄せられた寄附金及びその同額を市費で積み立てるマッチングギフト方式を取り入れた基金です。この基金がまちを明るく元気にする「市民活動助成制度」の原資となっています。

市では、皆様からの寄附金のほか、チャリティー自動販売機の設置を通じて基金を育成しています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

HP 松戸市トップページ ▶ くらし ▶ 市民活動 ▶ 協働のまちづくり（市民活動の活性化と協働の推進） ▶ 協働のまちづくり基金

http://www.city.matsudo.chiba.jp/kurashi/shiminkatsudou/kyoudou_machidukuri/kikin/index.html

令和5年度 協働のまちづくり基金 寄附者一覧

ご寄附いただきました皆様にお礼申し上げます。

- ・ 東京キリンビバレッジサービス株式会社 様
- ・ コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 松戸支店 様
- ・ 洗濯屋あべ 様
- ・ 株式会社伊藤園 松戸支店 様
- ・ 一般社団法人 千葉県宅地建物取引業協会 松戸支部 様
- ・ チャリボンを通じて寄附して下さった皆様
- ・ メルカリ寄付を通じて寄附して下さった皆様

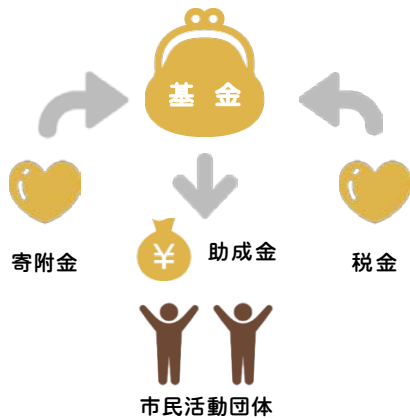
※公表に同意いただいた方のみ掲載しています。



市民活動助成金は

寄附

を活用しています



市民活動助成金は、市民や民間事業者のみなさんから、市民活動団体の支援のために寄せられた「寄附金」と「税金」を合わせた「協働のまちづくり基金」を原資としています。豊かで元気な松戸市を目指して、市民活動を寄附で応援しませんか？

「協働のまちづくり基金」は、皆さんからいただいた寄附金と、その寄附金と同額を市の財源から合わせて積み立てる「マッチングギフト方式」を取り入れています。

チャリティー自動販売機

市内に16台あるチャリティー自動販売機で飲み物を購入すると、売上金の一部が寄附されます。

まつど市民活動サポートセンターなどに設置しています。

- ・まつど市民活動サポートセンター
- ・市役所駐車場入口
- ・矢切支所
- ・常盤平支所
- ・新松戸支所
- ・ユーカリ交通公園
- ・洗濯屋あべ
- ・常盤平老人福祉センター
- ・シニア交流センター
- ・小金原市民センター
- ・小金支所
- ・ひがまつテラス



チャリティー自販機について
←詳しくはこちら

寄附をお待ち
しています



松戸市協働のまちづくり基金について
詳しくは市ホームページをご覧ください



松戸市 市民自治課 電話 3 6 6 - 7 3 1 8

チャリボン

いらなくなった本をチャリボンに送ると、その本の買取査定額が寄附されます。



CHARITY
BY THE BOOK

メルカリ寄付

メルカリで出品した商品の売上金を、メルペイ残高を通じて寄附できます。



銀行振込

市役所総務課にご連絡の上、銀行振込で直接基金に寄附できます。

発行

令和6年5月

松戸市 市民部 市民自治課

〒271-8588 松戸市根本387-5

TEL 047-366-7318

FAX 047-704-4009

E-mail mcshiminjichi@city.matsudo.chiba.jp